

またひとつ、お兄ちゃん お姉ちゃんになりました



あおま
2006 平成18年
5 No. 457

平成18年度施政方針



理想の町実現へ 町民とともにまちづくり

町長 金 澤 満 春

私は、町長就任の初年度の取り組みとして、地域の皆さんとの対話に重点をおき出来る限りの会合に出席し多くの方々のお話を聞き、また私の話も聞いていただきました。2年目となる今年には、「のびのび・生き生き・悠悠」の町を実現するため町民の皆さんとの協働による基礎づくりに取り組んで参ります。

さて、わが国は長引く景気低迷の中で大きな変換期に立っています。

政府は、行財政・経済・社会などにおける構造改革を推進してきましたが、いまだにその全体像が見えてきません。そのような中であっても、住民にとって一番身近な基礎自治体である市町村は、それぞれの個性と創造性を発揮して自立性の高い行政主体として新たな時代を切り拓いていかなければなりません。大間町においても、町民の幸せと町勢の発展につながる明る

い未来を切り拓き、次代を担う子供たちへ我がふるさと大間を責任もって引き継ぐため、今を生きる私たちが知恵を結集し自主自立できる町づくりを着実に進めなければなりません。

平成18年は大間町にとって大きな節目の年でありま

す。
一つには、町村合併の是非を決断しなければならぬ年でもあります。

現在、大間町・風間浦村・佐井村で構成する3町村合併協議会における合併に必要な事項についての協議が終了しさらには青森県との事前協議と住民説明会も終了いたしました。今後は、我が町の将来にとって単独と合併どちらが望ましいかを決断いたします。

次に、町の最重要課題であります大間原子力発電所計画についてですが、昭和51年大間町商工会から原子

力発電所設置の環境調査を求める請願書が提出されてから、30年の年月を経て、いよいよ本年8月大間原子力発電所建設の本格工事に着手することとなり、このことにより雇用の拡大等のメリットを生かし住民所得の向上が図られることとなります。また、事業者及び関連企業に対し就労の場の安全が確保されるよう求めて参ります。

私は、資源の乏しい我が国のエネルギー政策の良き理解者として大きな決断をし、発電所誘致を契機とした自立できる町づくりを目指した先人の想いを受け継ぎ住民一人一人が、自主自立できる豊かで明るい町づくりの主役であることを再認識する節目の年であると考えております。

このことにかかわって来られた多くの方々にかから敬意と感謝の意を表するものであります。

次に、産業振興についてであります。主要産業の水産業では継続事業の漁場漁港の整備を実施すると共に前浜の活用について両漁協と協力し調査研究を進めて参ります。農業では、遊休地を活用した地域に適した農業のあり方について調査研究すると共に、マーケット開発等による地産地消の推進に努めます。畜産業では、畜産農家の所得向上を図るためセンター機能の充実に努めます。観光では、今後大きな可能性を秘めている産業であることを踏まえ、観光事業者だけではなく町全体が観光客を優しくもてなすことが大事であると考えます。このことを実現するため町民一人一人が

観光ガイドになれるよう、ふるさと再発見事業に取り組みます。

生活環境整備につきましては、水道事業では導水ポンプ場改良事業を実施し、下水道・道路・港湾等については、年次計画に沿って整備を行うことといたします。

次に、保健福祉についてであります。平成17年6月の介護保険法の一部改正に伴い介護予防サービスがスタートし、寝たきりにならず元気な老後を過ごすための支援を行います。児童福祉では、老朽化した下手法保育所と奥戸保育所を統合し新たな保育所建設の設計に事業着手いたします。

教育につきましては、学校教育で、念願であった大間小学校の校舎建設に着手いたしますし、ソフト面では、学校教育の一環としてふるさと再発見事業に取り組みたいと考えております。社会教育では、次世代を担う子供たちを地域全体で育む事業を具体化していきたいと考えております。

最後になりますが、これら施策を推進し実行するため国・県はもとより議員各位を始めとする町民皆様の知恵をお借りしながら目的達成のため鋭意努力して参りますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

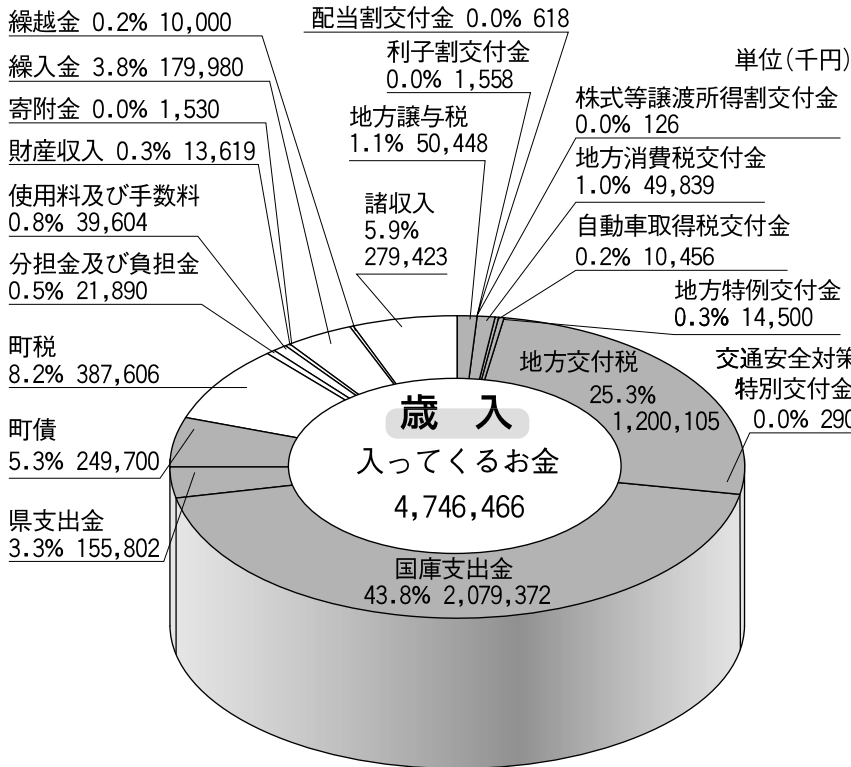
今年度の当初予算額

町の台所事情

47億4,646万6千円

平成18年度
当初予算

前年度比 12億5,635万3千円の増額 (36.0%増)

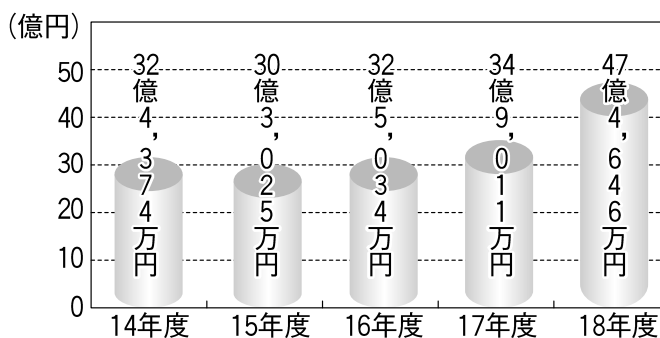


事務事業の見直しで 効率的予算運用

昨年度当初予算比で12億5、635万3千円の増額(36・0%増)となった今年度の当初予算ではあるものの、その執行にあたっては事務事業の見直しを行い効率的運用を図ることを基本とした今年度の予算編成が行われ、平成18年の第1回町議会定例会(3月議会)において、一般会計及び特別会計予算などの議案が可決されましたので、その主なものについてお知らせいたします。

自主財源
 (町独自の徴収や収納)

依存財源
 (国や県から交付されるお金)



当初予算額の
推移

老人保健特別会計予算

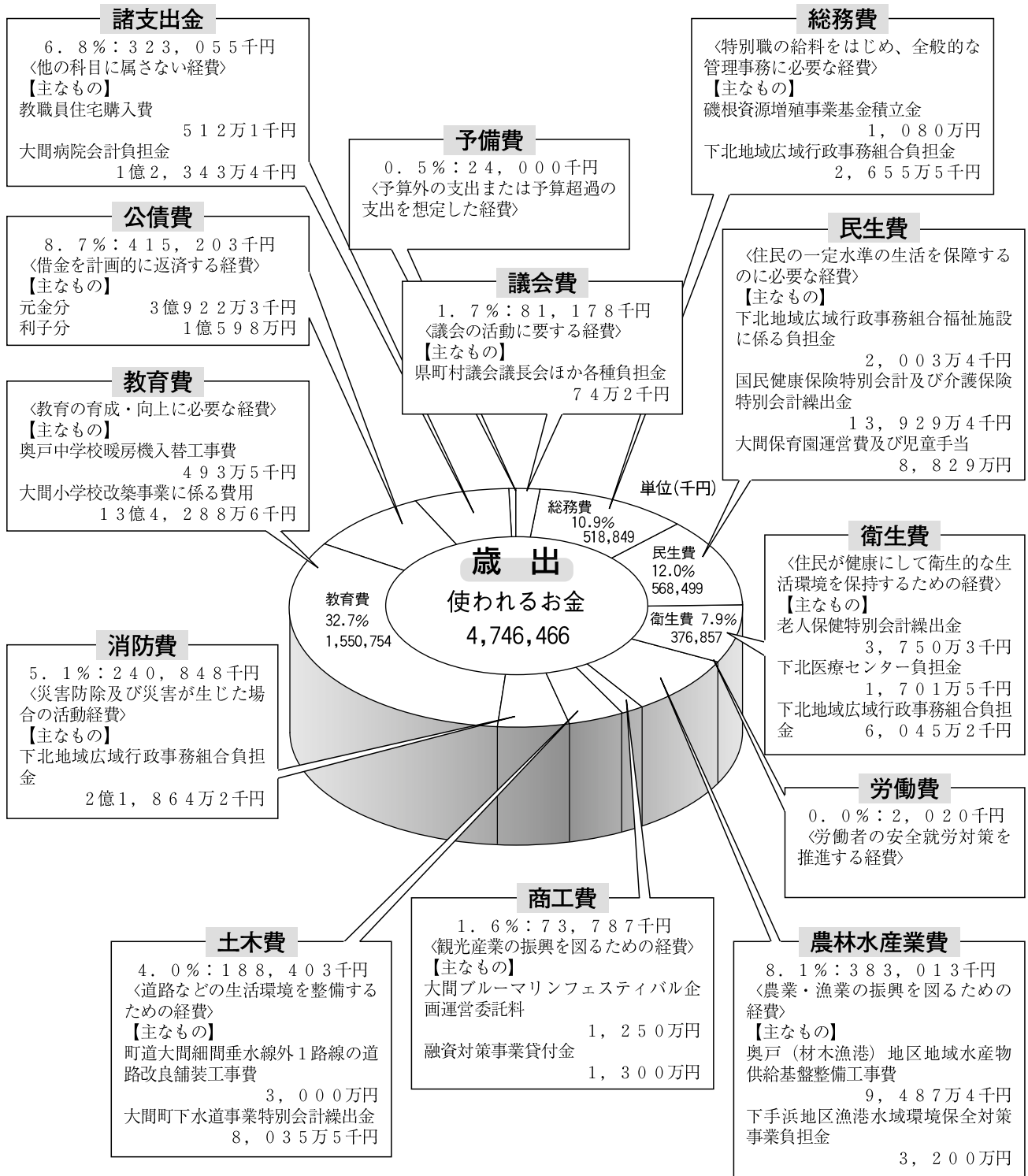
4億7,093万8千円 (7.5%減)
 歳入の主なものは支払基金交付金2億4,591万4千円。歳出の主なものは医療給付費、高額療養費合わせて4億6,787万3千円。

海峡保養センター事業等特別会計予算

1億5,127万2千円 (49.7%減)
 歳入の主なものは海峡保養センター事業収入の1億1,577万3千円。歳出の主なものは光熱水費等需用費、管理組合業務等委託料合わせて1億4,343万9千円。

国民健康保険特別会計予算

8億3,495万4千円 (0.4%減)
 歳入の主なものは医療給付費と介護納付金を合わせて3億2,592万4千円。歳出の主なものは保険給付費の5億8,598万2千円。



水道事業会計予算	
歳入：収益的収入	1億4,983万5千円
収益的支出	1億4,391万円
歳出：資本的収入	655万円
資本的支出	5,776万円
(不足分は内部留保資金で補填)	

下水道事業特別会計予算	
歳入	1億7,514万9千円 (1.5%増)
歳入の主なものは、国庫補助金4,500万円、町債の下水道事業債4,050万円。歳出の主なものは工事請負費7,360万円。	

介護保険特別会計予算	
歳入	3億4,712万4千円 (8.2%増)
歳入の主なものは介護保険料が、制度改正、事業計画策定に伴う介護サービス給付費に対応する負担率の変更等により5,191万3千円。歳出の主なものは保険給付費3億2,449万4千円。	

新任教職員の紹介【敬称略】

★紹介内容

- ①氏名 ②担当教科(役職)等 ③前任校等
- ④趣味・特技 ⑤今後の抱負

大間小学校



- ①佐藤知恵美
- ②6年2組
- ③奥戸小学校

- ④温泉巡り
- ⑤大間っ子のパワーに負けないように頑張ります。



- ①田澤真紀
- ②4年生
- ③原田小学校

- ④絵画鑑賞
- ⑤大間町民になって、8年目にして大間町につとめることになりました。よろしくお願ひします。



- ①山崎剛史
- ②やまばと学級2組副担

- ③新卒
- ④剣道
- ⑤初めてのことがばかりで不



大間中学校



- ①濱谷毅
- ②校長
- ③下北教育事務所

- ④釣り(ここ数年ごぶさたしています)
- ⑤子供たちの持つていける力、を少しでも引き出していけるよう、教職員一丸となって頑張っていきたいと思ひます。



- ①中村邦夫 (1主 任、生徒指導部)
- ②国語・美術(1学年)

- ③大平中学校
- ④楽器演奏(サククス)
- ⑤微力ではありますが、大間中学校の生徒一人一人の成長のための手助けをしていきたいと思ひしております。自分のやれる精一杯のことをやっていきたいと思ひていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



- ①葛西和人
- ②社会
- ③奥戸中学校

- ④ドライブ、釣り
- ⑤今年度も大間町で頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



- ①豊川洋人
- ②数学
- ③むつ中学校

- ④楽器やスポーツをするこ
- ⑤おいしいものをたくさん

- 食べて、早く大間になじみ、大間のパワーに負けないよう、バリバリ頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。



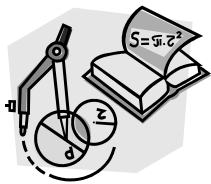
- ①川端久美子
- ②養護教諭
- ③佐井小学校

- ④読書・テレビ
- ⑤子供たちの元気なパワーに負けないで頑張ります。



- ①佐々木千尋
- ②全学年音楽、1・2学年家庭科

- ③大間小学校・大間町教育委員会
- ④映画鑑賞
- ⑤自分の卒業した学校で教員の仕事ができ、大変うれしく思っています。頑張りますのでよろしくお願ひします。



奥戸小学校



- ①岡田順子
- ②1年生担任
- ③大間小学校

- ④お取り寄せ(全国のおいしいものを食べる)
- ⑤ひき続き、生まれ育った大間町にお世話になります。奥戸小学校の子供たちのために微力ではありますが、一生懸命頑張ります。



奥戸中学校



- ①傳法勇
- ②体育
- ③北部中学校

- ④スポーツ・ドライブ
- ⑤「やるだけやれ、結果は後からついてくる！」自分の好きな言葉です。頑張ります。



①大川 満
②校長
③黒石商業高校

大間高校



④旅行
⑤大間の風に負けない強い心で頑張りたいと思います。



①小笠原香奈江
②養護教諭
③第二川内小学校

④読書、温泉巡り、スノーボード
⑤学びは文化。文化は人の暮らしを豊かにします。中学校で学べることは、どんどん吸収していった欲しい、そう願っています。



①二本柳一直
②社会科
③大間中学校



①渡辺 幸枝
②国語
③川内高校

④書道
⑤生徒たちのパワーに負けないように、頑張りたいと思います。

④釣り、山菜取り、スポーツ観戦
⑤大間の文化、特に文学に関するものを調べたいと思っています。情報をお寄せください。



①山本 隆悦
②教頭
③八甲田高校

④果樹栽培（あんず、梅、桃、梨、ぶどう、キウイ、プルーン、サクランボ）
⑤生徒が「来てよかった」、保護者が「行かせてよかった」、地域が「あつてよかった」、職員が「勤めてよかった」学校づくりに誠心誠意努力したい。



④趣味：料理、手芸、水泳
①富山 純子
②家庭科
③大畑中学校

③大畑高校
④サッカー
⑤楽しくをモットーに頑張ります。



①山下 健二
②世界史A、日本史B、地理A、2学年担任

④趣味：バイク
⑤自然豊かなこの大間の地で頑張ります。



①下山 寛朋
②情報科・商業科
③鶴田高校

④旅行
⑤大間での新しい生活に早く慣れて頑張りたいと思います。どうぞよろしく。



①木立真央子
②英語
③青森高校

大間の皆さん
お願ひします



③ドライブ・スキー・サッカーなど
④地域住民のために、精一杯頑張りたいと思います。



①千倉 知久
②副院長

大間病院

★紹介内容

①氏名 ②担当（役職） ③趣味・特技
④今後の抱負

新任医師の紹介【敬称略】

特技：フルート
⑤大間町の豊かな文化を実習に生かしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。



①木村 天永
②内科医長

③スノーボード
④地域のニーズに応え、質の高い医療を提供できるように頑張りたいと思います。

元気いっぱい 大間保育園入園式

各学校などで入学式が行われる中、大間保育園でも4月1日(土)入園式が行われました。

今年、21名の園児が新しく入園、63名の園児が大間保育園での楽しい1年をスタートさせました。式が始まる頃には、泣い



▶園長先生のお話も静かに聞いていました。

ていた園児もいましたが、石澤園長が「今まで通っている子も新しく通うことになった子も、みんな仲良くお友達になって、遊んでください。」と挨拶すると園児たちは元気に「ハイ!」と返事をしていました。



▶新しいさくら組から歌のプレゼント。

「母の会」からマグロのぼりが寄贈されました。

50年以上に渡り、様々な団体へ寄付活動等を行ってきた「母の会」(会長 三国谷ジュン)から、大間地区の大間幼稚園、下手浜保育所、大間保育園、大間小・中学校の5カ所に「マグロのぼり」が寄贈されま

した。同会は、昨年三月にも特別養護老人ホーム「くろまつ」と大間町消防団に多額の寄付を行っており、今回の「マグロのぼり」もいろいろな学校行事等で活用されることとなります。



▲大きなマグロさんと記念撮影。

毎日の掃除に 使ってね!

大間婦人会(会長 新相郁子)が、特別養護老人ホーム「くろまつ」や大間地区の小・中学校、高校、保育所など(幼稚園、大間保育園、下手浜保育所)に

雑巾やタオルなどを寄贈しようとする地域の各家庭に提供をお願いしたところ、約1450枚が集まり、3月8日(水)寄贈されました。婦人会では「2月から3月にかけて地域の皆さんが収集に協力してくれたおかげです。」と協力してくださった方々に大変感謝していました。



▶たくさん集まりました。

＋ 病院だより No.100 今月の担当医 副院長 十倉 知久

大間町民の皆様どうも初めまして。4月より国保大間病院へ赴任しました十倉知久です。

本州最北端大間町には以前より1度は行ってみたいと思っており、期待と不安を胸にやって参りました。病院スタッフの方は皆さん優しく、赴任したばかりで仕事に慣れない私に良く接してくれますので非常に助かっています。

今回自己紹介を依頼されましたので簡単ですがお話したいと思います。

出身は青森市で市内の高校を卒業後、平成6年栃木県にある自治医科大学に入学。大学ではサッカー部に所属し6年間勉強と共に頑張り、平成12年青森県立中央病院に勤務となり2年間の初期研修を行いました。その後、現国保おいらせ病院に3年間勤務し、昨年(平成17年)は1年間八戸市立市民病院外科に勤務しました。

家族についてですが、平成12年に結婚し翌13年7月に長男誕生(現在4歳9ヵ月)。平成17年1月に次男が誕生(現在1歳3ヵ月)し、現在4人家族です。家族全員で大間町に引っ越して来て楽しく暮らしています。

外科として勤務しておりますが、外科に限らず内科疾患も含め総合的に幅広く診療するようにしています。周辺地域の医療事情や患者様の希望を考慮し、当院で治療できる疾患であれば全力で治療したいと思います。また、地域住民の健康のために出来る限り力になりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

以上簡単であります自己紹介とさせていただきます。

ご迷惑をおかけする事もあるとは思いますが、家族共々よろしくお願い致します。

自分らしい健康を
考えられる街づくり

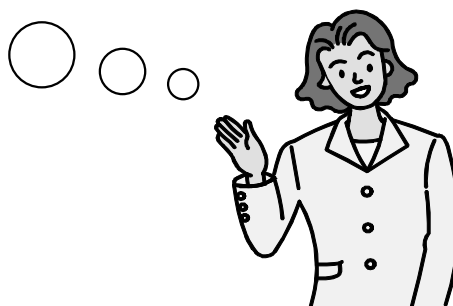
保健だより 114号 住民福祉課 担当：三國保健師

「女性のための健康相談」受付ています。

女性が抱える、さまざまな身体や心の不調やちょっとした悩みについて、保健師が気軽に相談を受け付けています。

例えば・・・

- ・思春期における女子の悩み
- ・妊娠や避妊についての悩み
- ・不妊に関する一般的な相談
- ・婦人科疾患、更年期障害についての悩み
- ・性感染症を含め女性の心身の健康に関する相談



日程 ⇒ 毎月第3木曜日 午前10:00～12:00

上記に関する問合せ先：むつ保健所(下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室)

健康増進課 担当者まで TEL 24-1231

上記及びその他の健康相談先：大間町住民福祉課 保健師まで TEL 37-2111

町民の皆さん！

我が町の小・中学校の運動会・体育祭

応援してください！

5月14日(日) 大間中体育祭

会場／大間中グラウンド

9:00 入場行進スタート →開会式、競技開始

5月28日(日) 大間小運動会

会場／大間小グラウンド

8:40 入場行進 9:30 競技開始
9:00 開会式

5/21(日) 奥戸小・中合同運動会

会場／奥戸中グラウンド

8:30 入場行進スタート →開会式、競技開始

大間町史 発売中

町に残る史実に基づき、

政治、経済、産業、文化等に体系付けて網羅した通史として、大間町の歴史を中心にとらえ、公正な史観に基づいた編集内容で、読みやすさに重点をおいて編集されている大間町史。

この町史が広く町民の皆様に親しまれ、愛読され、明日の郷土大間町の土台をきずく一助となればと思います。

ご家族や職場にぜひ1冊購入してみませんか。

販売価格 1冊 7,000円

▽大間町教育委員会または高橋本店で販売しております。

われら下北人

大間町学力向上推進委員会
大間高等学校
教頭 山本 隆悦

「下北人で人の上に立っている人はいない」「県の会議に参加しても津軽や青森の人たちがどんどん発言し、下北の人たちは黙ってそれを聞いていて、決まったことを大人しく持ち帰る」と、県教委から赴任した校長に言われてもう15年は経つだろう。

下北出身の者として反感を抱いたが、言い返すことができなかった。

内心、下北人はいつも相手を立てて接し、人の足を引っ張ることはないではないか、そのお陰で下北に赴任した管理職は気分よく出身地へ戻って行くのではないかと、不快感を強く抱いたことを覚えている。

その後、あるきっかけで下北を舞台にしたり、下北人を登場人物にしたりしている小説や随筆、紀行文などを精読しているうちに、当時の校長の言わんとすることが少しずつわかってき

た。「あなたも変わりなさい」(豹変) ということを言いたかったのだろう。

どの地域の出身の者にも、優れた点もあり、劣っている点もある。ただ、私たち下北人も、厳しい現実を生き抜くためには自分の弱点や欠点を修正していく必要があるのではないだろうか。

下北という地域や下北人を先人観や偏見で捉えた文学作品も少なくない。下北を舞台にした小説や随筆を題材に授業を行ったとき、生徒たちにはこう話した。

「もし、間違ったことが書かれていたら、『それは違うよ』と説明しようよ。また、私たちの欠陥の適切な指摘であれば、直せようよ。そういうことが出来るような力をつけようよ。」と。

自分の意見をはっきりと正しく相手に伝えるためにはその裏づけとなる知識と効果を上げる知恵がなければ説得力もなく、偏見も先入観もなくならない。

本を読み、文章を書き考える力をつけ、情報を選り分け、逞しく生きていける下北人に、私はなりたい。

いきいき学校通信

大間小学校

夢をはぐくむ教育

「大間小レインボープラン」

この春、52名の新入生を迎え332名の夢と希望を乗せた大間小丸は、平成18年度の航海に船出しました。この1年、本校教育の羅針盤とする「大間小レインボープラン」(子どものすこやかな成長を願う7つの施策)を紹介します。



★虹色アクション1

一人一人が生き、生かされる教育の推進

○2人の先生で授業
算数の授業等では、2人の先生が協力し合って個を生かす指導に徹します。

○個別に教える授業

必要があれば、校長・教頭が個別指導をします。

★虹色アクション2

確かな学力の向上を目指す教育の推進

○放課後の補充学習

3年生以上は、毎週2日放課後残って勉強します。

○夏・冬休みの整理学習

5・6年生は、休み中も1週間出校し勉強します。

○校内漢字・計算テスト
各学期ごとに全校一斉に実施し、基礎力を高めます。

○週1回の部活休止日
毎週木曜日は、特別クラブの活動を休止し、子どもたちの負担に配慮するとともに、先生方自身の授業力を高めるための研修日や会議日とします。

★虹色アクション3

心を育てる教育の推進

○道徳教育の充実

毎日の清掃活動、町内のクリーン活動、「くろまつ」での介護体験などなど、汗を流して働く体験を通して道徳的実践力を培っていきます。

○生徒指導の充実

子ども対子ども、子ども対教師との信頼関係を大事にしなが、思いやりの心を育てていきます。

★虹色アクション4

児童の内面と対峙した教育の推進

○教育相談の実施

自分の夢や目標に向かってくじけず努力しているように、一人一人との教育相談を通して児童理解に努めていきます。

○個人面談の実施

保護者との個人面談を通して、子どもが抱えている悩みや課題を共有し、その解決に向けて家庭との連携を強化していきます。

★虹色アクション5

かけがえのない生命を守る教育の推進

○パトロールの強化

登下校時の安全を確保するため、大間警察署と連携を図りながら、パトロールを継続していきます。

○安全教育の徹底

不審者に出会った時の対応や火災時の避難の仕方、交通事故防止等、繰り返し指導していきます。

★虹色アクション6

特色のある教育活動を意図した教育の推進

○教育ボランティアの活用

○海峽海鳴太鼓、北風ジュニアソランの継承

○小学校における武道指導
小学校体育の授業に武道指導(剣道)を取り入れるとすればどのような方法が考えられるか、今年度新たに文部科学省から研究指定を受けました。礼儀を重んじ、心を育てることに重点をおいた取り組みを推進していきます。

★虹色アクション7

地域に開かれた、地域に信頼される教育の推進

本校では保護者や地域の方々の声に真摯に耳を傾け、地域に信頼される学校教育の実現に努めております。今後とも、本校の教育に対して「大いなる関心」をお寄せ下さるようお願いいたします。



暮らしのインフォメーション

皆さんの、日々の暮らしに役立つ情報がいっぱいです。
楽しい生活を送るために、ぜひ、ご活用ください。

5月

（さつき
皐月）

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

健康ですか・・・* 保健衛生事業（5月分）

事業内容	期 日	場 所	時 間 帯
3歳児健診	5月9日(火)	総合開発センター	受付 12:00~12:30 対象 H14.10~ H15.1月生
ハロー ベビールーム	5月18日(木)	〃 〃	受付 未定 対象 H17.12~ H18.1月生 H17.9月~10月生
健診結果説明会	6月7日(水)	農業研修センター	受付 未定 (受診者に通知します)
〃 〃	6月8日(木)	漁業活性化センター	〃 〃
〃 〃	6月9日(金)	総合開発センター	〃 〃

※お問い合わせ・詳細については、役場住民福祉課まで（内線41番）

国民年金保険料の納付について

案内をご用意しております。

国民年金保険料の納め忘れがあると、将来受ける老齢基礎年金が受けられなくなったり減額されたりします。また、万が一のケガや病気で障害が残ったときの障害基礎年金や一家の働き手を亡くしたときの遺族基礎年金を受けられないことがあります。

そのため、青森社会保険事務局・各社会保険事務所では国民年金保険料の納め忘れを防ぎ、皆さんの大切な年金権を確保するために「ご自宅への訪問」や「電話」による納付のご案内をしております。どちらも夜間や休日も行っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

〇戸別訪問によるご案内

身分証明書を持った社会保険事務所職員や国民年金推進員、国民年金保険料収納指導員がご家庭を訪問し、納付のご案内、保険料の受けとり、制度のご説明を行っております。

大間町全域の推進員は草訳あつ子が担当します。訪問した際は、様々な年金に対するの相談に応じますのでよろしくお願いいたします。



国民年金推進員
草訳 あつ子

お問い合わせ先
むつ社会保険事務局
むつ市小川町2丁目7-30
TEL 22-2278

平成18年度

狂犬病予防注射日程表

月日	対象地区	実施場所	実施時間
5月9日(火)	第二ときわ	蛸子写真館附近	10:00~10:20
	ときわ	ときわ町営住宅前	10:30~10:50
	ときわ	高校住宅前	11:00~11:20
	朝日	伊藤志郎氏宅前	11:30~11:50
	美島	下手浜漁港港内	13:00~13:20
	美島	奈良宏一氏宅裏	13:30~13:50
	汐見	伝法昭一氏宅前	14:00~14:20
	割石	新田彦一氏宅前	14:30~14:50
	日和	田村音楽教室前	15:00~15:20
5月10日(水)	カットシ	割石倉庫前	15:30~15:50
	浜町	大間町公民館前	10:00~10:20
	上町	伊藤利文氏宅附近	10:30~10:50
	細間	蛸島商店前	11:00~11:20
	根田内	新田源四郎氏宅前	11:30~11:50
	向町	小谷伝氏宅前	13:00~13:20
	向町	向町漁協倉庫前	13:30~13:50
	上仏	奥戸コミュニティ消防センター前	14:00~14:20
	浜町	真柄商店附近	14:30~14:50
材木	農村婦人の家前	15:00~15:20	

※ハガキが届いた方(平成18年3月31日現在登録している方)は注射の際必ずお持ちください。
 ※集合注射料金は3,000円(注射料2,450円、注射済票交付手数料550円)です。
 ※今年から町で行う狂犬病予防の注射は春の1回のみの実施となりますのでお気をつけください。

建設環境課

行政相談をご利用ください

春の行政相談週間は
5月22日(月)~28日(日)です。

行政相談員は総務大臣が法律に基づいて、民間有識者の中から委嘱しています。(無報酬のボランティアです。)

道路、年金、医療保険、福祉などの行政全般について、皆さんの身近な相談相手として各市町村に配置されています。

この週間中「特設行政相談所」を下記のとおり開設しますので、ぜひご利用ください。

【相談担当者】
行政相談員 大畑ふさ

月日	相談受付時間	場所
5月26日(金)	9:30~15:00	大間公民館

平成18年度

月曜日及び休日の年金相談業務実施予定日等について

社会保険事務所等における年金相談業務等については、昼休み時間帯における窓口対応や受付時間の延長及び休日開庁により、利用者の立場に立った年金相談の実施とサービスの提供に努めてきたところです。

平成18年度においても、利用者のニーズへの適切な対応を促進し、より一層の行政サービスの向上を図るため、月曜日の時間延長による年金相談、休日開庁による年金相談及び国民年金保険料納付相談、免除申請書の受け付けを各社会保険事務所において実施することといたしましたのでお知らせいたします。

- 1 毎週月曜日の年金相談日
受付時間 午後7時まで
- 2 毎月第2土曜日の年金相談日
受付時間 午後9時30分
~午後4時まで

青森社会保険事務局

日本学生支援機構の奨学金の申込受付を開始します

日本学生支援機構では、大学・大学院・短大・高専・専修学校(専門課程)に今春進学する方を対象に、奨学金申込みの受付を開始します。

なお、来春進学を希望されている方を対象にした、「予約採用」の申込みも受付を開始します。詳しくは、在学している高校・専修学校(専門学校)の窓口までお申し出ください。

受付期間は、各学校によって異なりますのでご確認をお願いいたします。

※奨学金の貸与を受けるにあたっては、機関保障制度への加入、もしくは連帯保証人・保証人の選任が必要です。

詳しくは学校の窓口へ。

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)
<http://www.jasso.go.jp/>
 奨学事業相談センター
 電話 0570-03-7240(ナビダイヤル)

お し ら せ

下北地域広域行政事務組合汚泥再生処理センター整備事業に伴う 「青森県環境影響評価条例」に基づく環境影響評価事後調査報告書の縦覧について

むつ市、下北郡4町村（大間町、東通村、風間浦村、佐井村）及び上北郡3町村（野辺地町、横浜町、六ヶ所村）から排出される「し尿及び浄化槽汚泥」を処理する計画の「汚泥再生処理センター整備事業」による環境への影響に関する事後調査報告書ができましたので、次のとおり住民の皆様にご覧いただきますようお願いいたします。

下北地域広域行政事務組合

管理者 杉 山 肅

環境影響評価書の縦覧

【事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地】

- ◆名 称 下北地域広域行政事務組合
- ◆代 表 者 の 氏 名 管理者 杉山肅
- ◆主たる事業所の所在地 青森県むつ市金谷一丁目10番1号

【対象事業の名称、種類及び規模】

- ◆名 称 下北地域広域行政事務組合汚泥再生センター整備事業
- ◆種 類 一般廃棄物処理施設（汚泥再生処理センター）
- ◆規 模 し尿及び浄化槽汚泥 日処理量 220キロリットル

【対象事業実施区域】

【関係地域の範囲】

【評価書の縦覧の場所、期間及び時間】

- ◆場 所
 - 大間町役場 建設環境課
下北郡大間町大字大間字大間104番地
 - 下北地域広域行政事務組合 むつ衛生センター
むつ市大字奥内字今泉68番地
- ◆期 間 平成18年5月15日（月）から平成18年6月14日（水）まで
（土曜日・日曜日及び祝日を除く）
- ◆時 間 午前9時から午後4時まで

お問い合わせ先

- ◆下北地域広域行政事務組合 むつ衛生センター
TEL 45-2017 FAX 26-2128
E-mail shimokou-6@net.pref.aomori.jp

車検のための納税証明書 (自動車税)について

納税通知書・領収証書(口座振替を依頼された方で振替済みになった場合には口座振替済通知書)に付いている納税証明書は、自動車税を納めた後そのまま自動車検査証(車検証)と一緒に保管しておきますと車検の際に便利です。

この納税証明書をなくされた場合は、県税事務所または地域県民局県税部の窓口で車検用の納税証明書の交付を受ける必要があります。

交付申請の際には、自動車検査証を窓口に表示し、交付申請票への押印が必要なほか、運転免許証等により、窓口においてになった方の身分確認等を行っております。

また、代理人が交付申請する場合には、本人(法人の場合は代表者)からの委任状も必要となります。(御家族・従業員の場合にも必要です。なお、「交付申請票」の「委任に関する事項」欄に記入・押印がある場合は委任状は必要ありません。)

納税証明書は、納税者の皆様の大切な情報を証明するものですから、窓口においていただいた方の確認等を厳格に行わせていただいておりますので、御協力をお願いします。

なお、電話での納税確認は原則として受け付けておりませんので御了承ください。

《詳しくは》

下北地域県民局県税部総務課
電話 22-8581 内線 204

平成18年度

出稼援護事業地域相談員

大間地区 能登正美
奥戸・材木地区 宮崎和雄

出稼労働者の就労動向の把握、出稼労働者に対する求人情報の提供、留守家族との相談等の業務を行います。お気軽にご相談ください。

出稼労働者の方々へ

以前から出稼手帳に町長の証明を受けてから、出稼ぎに行くという指導があったと思いますが、最近同じ勤務場所に行く場合等証明を受けることなく出稼ぎに行ってしまうケースがあるようです。役場でも誰が何処に出稼ぎに行っているか把握しておかなければならないので、ご面倒でも出稼ぎに行く前に役場に来て、手帳に町長の証明を受け、住民福祉課に出稼ぎに行くことを届けてから安心して行かれるようにしてください。住民福祉課への届出は、もし、出稼ぎ先で事故などがあった場合、就労先と家族の方との連絡のやりとり等に役立てるためです。

出稼ぎに行く前に・・・

- ①戸籍係・・・印鑑と出稼手帳を持って証明を受ける。
- ②住民福祉課・・・就労先の会社の名称、住所、電話番号がわかる封筒等を提出

大間温泉

●海峡保養センター

【営業時間】

午前9時～午後9時

●養老センター

【営業時間】

午前8時～午後9時

【今月の休館日】

2日・9日・16日・23日・30日

○便利でお得な、割引回数券のご利用をおすすめします。

○保養センター玄関前への駐車はご遠慮ください。

石綿による健康被害の救済に関する法律が制定されました。

石綿による健康被害が大きな社会問題となっていることを受け、健康被害を受けた方及びその遺族の方々を隙間なく救済する「石綿による健康被害の救済に関する法律」が成立しました。

この法律においては、労働者等であって石綿にさらされる業務に従事することにより中皮腫や肺がん等に陥り、これにより死亡した方の遺族であって、時効により労働者災害補償保険法に基づく遺族補償給付の支給を受ける権利が消滅した方に対して「特別遺族給付金」(年金・一時金)を支給することとし、3月27日から施行されることになりました。

救済制度のパンフレット及び請求書は、役場に用意しておりますので希望される方は窓口までおいでください。

住民福祉課：中新

「わが家のお子さんを町報に掲載してみませんか。掲載を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。」



「わが家のお子さんを町報」を募集中

児童手当の改正のお知らせ

これまで小学3年生までとなっていた児童手当の支給対象年齢が、制度の改正により小学6年生までに拡大されます。

小学4年生の児童がいる方で、これまで児童手当を受給していた方は、特段の手続きは必要ありませんが、小学5年生から小学6年生の児童がいる方については、新規の認定請求が必要となります。

なお、新規認定請求については6月1日からを予定しており、各保護者宛に必要な書類等の送付をいたしますので、書類到着後に役場住民福祉課に認定請求となります。



わたしたちの町

平成18年3月末現在()前月比



	人口	男	女	世帯数
総数	6,413(-64)	3,226(-34)	3,187(-30)	2,442(-24)
大間	4,844(-63)	2,429(-31)	2,415(-32)	1,906(-25)
奥戸	1,345(-1)	684(-2)	661(+1)	465(+1)
材木	224(±0)	113(-1)	111(+1)	71(±0)

「戸籍の窓」には大間に住民登録をしている人の出生、死亡、結婚について記載しますが、個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない人は届出の際に係に申し出てくださることをお願いいたします。



お誕生 おめでとう



種澤 翔(真志) 佐々木瑠菜(純)
新田 一巴(希彦) 蝦名さくら(仁)

おくやみ 申し上げます



畑山陸奥夫 71才 菊池 みさ 79才
神馬 初雄 74才 山崎 ユワ 97才
谷川 とめ 82才 阿部さつ子 68才

編集室

新年度に入り、1ヵ月たちました。新しく入学、入社、異動なされた皆さんはもう学校や会社になれましたか。

さて、5月は、内山公園での「桜まつり」や、小中学校での運動会や体育祭など、春の季節恒例のイベントが立て続けにあります。みなさん足を運んで、存分に楽しんでください。

私もシャッターボタンを押すのを忘れない程度に楽しみたいと思います。

広報 **おおま** 第457号

発行日：2006年5月1日

発行：大間町 編集：企画調整課

〒039-4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地

☎(0175)37-2111 HPアドレス <http://www.net.pref.aomori.jp/ooma/>

印刷所：協同印刷工業株式会社